

P F I に見る国家機能の変遷とその是非 レジュメ

1. 動機

- ・昨今新しい民活の手法として聞く P F I。 Ex. 美祢社会復帰促進センター
- ・旧来通りの公共サービス水準を維持しつつ小さな政府と財政削減を実現するらしい。

→万能の靈薬みたいに言われているけど、それって本当？

- ・適切な導入方法と利用法は？
- ・具体的事例？

→あらゆる公共サービスは維持しつつ、政府規模自体は縮小しうるものなのだろうか？

- ・そもそも小さな政府こそが採るべき路なのだろうか？ cf. 高度福祉国家

2. まずは P F I について知ろう

- ・しらべものプリント参照

3. 国家機能の変遷とその是非

(1) 現状認識

P F I (P P P) とはすなわち

- ・大きな政府の根幹、「社会権」の充実
- ・政府規模の縮小、合理化・効率化
の美味しい所取りである。

昨今の情勢下、財政改善とそれに伴う効率化、整理は急務ではある。

→イギリスにおいて、P F I は国家財政の観点から見た時、一定の役割を担っている。

(2) 問題提起

- ・P F I という手法自体の有効性はどの程度なの？
- ・地域間格差 ・プロジェクトの遂行能力

・効率化と大きな政府は二項対立の要素なの？

・P F I の自由化、効率化＝グローバリゼーションとも密接にリンク

→P F I の資本、資源（原料というより製品。例えば机とか）が輸入品になる？

→公的事業の目的。経済の牽引役としての作用？

＝それって本当にお得なの？

・社会権を保障するのは誰で、かつどの（程度の）手段を以ってすべきなの？

→議論が尽くされているように感じられない。

経済的利潤＝正しい事？

最善の手法＝本質の追求？

P P P の追求は国家のあるべき姿を実現しうるものだろうか。

4. 政策提言

『 $n + b > c$ を徹底しよう』

- ・表面的な V F M に囚われない。外部効果 (b) の重視。
- ・「経済性」の不経済性を考える。
 - ・基本的に国内完結。出来れば資源以外の全プロセスで国産を貫く。
 - ・地域性重視。(1) S P C がより地域色の強いものとなるように留意する。
 - ・(2) 第三セクターの重視・改善
 - ・P F I や P P P に関するノウハウの蓄積と習得
- ・「格差」の不経済性を考える。
 - Ex. 希望格差 財源移譲 地方自治体の枠組みの変化（市町村合併・道州制）
 - ・地域雇用と地域完結の重視。→(2)
 - ・(3) 代替手段がある（既に用意されている）I G を P F I で実施する。
 - Ex. 第二東名高速自動車道の残りの区間
 - 演繹して代替手段の無い事業は I G でなくてもやらない。
とりわけ国民健康保険や年金制度。
- ・理念の重視
 - ・国家がやるべき事は国がやるべき。とりわけ夜警＋初中等教育。
 - ・(4) P F I による刑務所や小中学校は雛形とする。

→国家と地域の手法の棲み分け。国家が P F I を、地域は第三セクターを生かすべき。

5. 出典・参考文献

民間の力で行政のコストはこんなに下がる 時事通信社（2006.10.25）

・表1 ・規制緩和の例

第三セクターと P F I ぎょうせい（2002.8.25）

・ $n + b > c$ ・第三セクターの擁護

P F I の法務と実務 金融財政事情研究会（2006.4.6）

・図1 ・プロジェクトファイナンス その他

P F I と事業化手法 金融財政事情研究会（1998.11.20）

・プロジェクトファイナンス

現代用語の基礎知識

知恵蔵

財務省 <http://www.mof.go.jp/>

・一般政府固定資本形成 (I G) の推移

国土交通省 <http://www.milt.go.jp/>

・社会資本整備のあり方について

(G D P 1 % 分だけ国土条件より日本国は諸外国より I G への投資が必要)

社会復帰サポート美祢 <http://www.secom.co.jp/srs-mine/index.html> ・イラスト

wikipedia 「美祢社会復帰促進センター」